
藤沢駅周辺地区再整備構想検討委員会 第7回藤沢駅南北まちづくり市民検討部会

資料 これからの進め方について

1. これまでの南北まちづくり市民検討部会での検討状況1
2. これからの進め方について2

2011年(平成23年)7月13日

(1) 構想検討のための整備方針の展開 (第5回資料より)

戦略1 安全快適な通りや空間などの戦略【広場・回遊軸の整備方針】

駅改札前ゾーン(情報提供広場)の改善

各鉄道駅から本地区に最初に降り立つ場所に、鉄道側と協調しながら、イベント、展示、情報提供等を行えるゆとりある歩行者空間を配置することにより、来街者に本地区を印象づけ、回遊を誘導する広場とします。

南北回遊起点(南北中央広場)の改善

駅改札前ゾーンから発して、南北それぞれの地区の回遊を開始する場所にある中央広場(デッキ、駅前広場)を改善することにより、南北の一体感の醸成、交通結節機能の改善、回遊の動機付けを行います。

まちなか小広場の創出

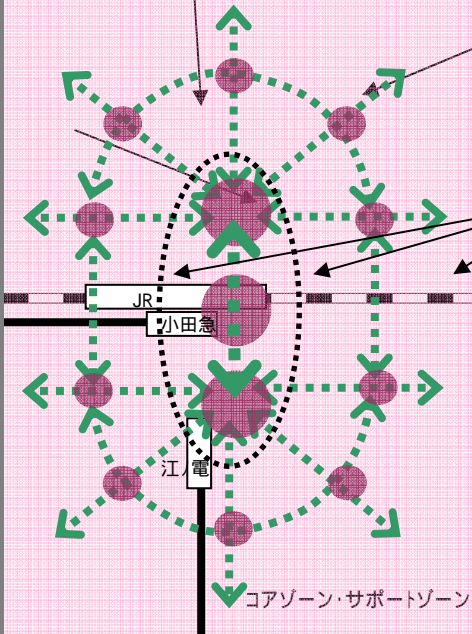
ビルの建替え時の半公共空間の活用、壁面後退などにより、まちなかに歩行者が寛ぎ、交流できる小広場をつくれます。

回遊軸の改善

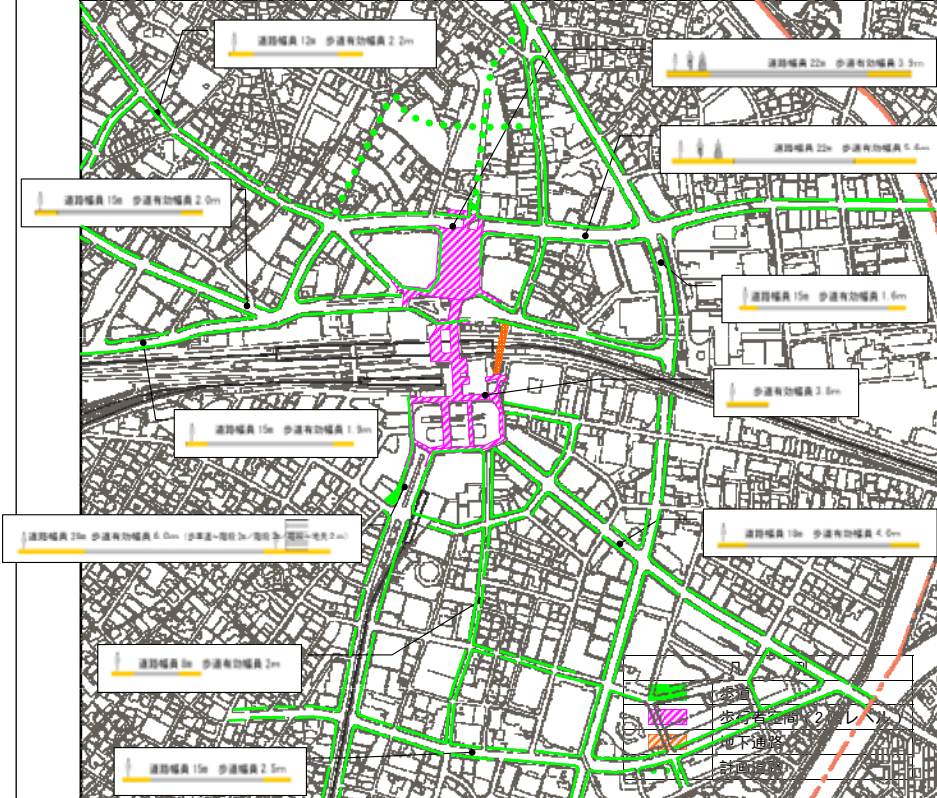
各広場を連携し、安全・快適に回遊が行える歩行者・自転車軸を、既存の歩道空間や民地の壁面後退空間などを活用して充実していきます。

南北動線の改善

現在の南北動線(デッキレベル、地下レベル)は、老朽化、きつい勾配、昇降機の少なさが問題であるとともに、コンコースでの歩行者交通の錯綜などにより混雑しています。
南北動線のバリアフリーの改善による快適性向上、ネットワークの充実等により流動性の向上を図ります。



回遊軸となりうる既存歩行者ネットワーク



戦略8 湘南らしさ、藤沢駅周辺商業地らしさの戦略

エリアマネジメントの必要性

まちづくりを推進し、まちを維持・管理していくためには、まちの人が主体的に参加し、活動していくタウンマネジメント組織を立上げ、先行プロジェクトに着手していきます。

戦略7 まちなみや景観の戦略

エリアマネジメントの一環として、本地区の特色を生み出せるまちなみ、景観を創出します。

戦略3 住機能の戦略

商業地を支え、活気を生み出す人の定着を図るため、住機能の維持、充実を図るとともに、商業地の一体感が喪失しないように低層部への特色ある商業機能の配置を誘導します。

戦略4 コミュニティライフの戦略

住機能の配置にあわせて、コミュニティインフラ(保育所、託児所、老人介護施設など)を充実していきます。

戦略2 物販・飲食・サービス等の業種・業態の戦略

戦略5 文化・エンタテインメントの戦略【集客拠点配置方針】

特色ある集客拠点の配置

コアゾーン、サポートゾーンに回遊を生み出すためには、まちなか広場や回遊軸と合わせて、回遊の目的地となる集客拠点が必要です。
集客拠点としては既に地区内に大型の商業施設や官公庁施設などがあります。
集客拠点は日常的に多くの人々が集まってくる施設であり、それ自体がにぎわいを生み出すとともに、集客施設に往来する途中の経路でもにぎわいを生み出します。
さらに、大型施設ではなくても、音楽関連施設や旧映画館などアート関係の施設がいろいろ集まっている通りなどを資源にして、特色を生み出せるひとまとまりの空間を集客拠点として充実し、配置していきます。

戦略6 交通処理の戦略【交通施設整備方針】

幹線道路ネットワークの構築

藤沢駅周辺地区は、鉄道によって自動車での南北移動が困難であるものの新たな南北幹線道路の整備が実質的に困難であることから、既存の国道467号、戸塚茅ヶ崎線とともに、一部未整備の鶴沼奥田線の整備を推進することにより、この3本の路線で中心市街地の骨格となる幹線道路ネットワークを形成し、円滑な交通処理を行います。

道路の性格付け

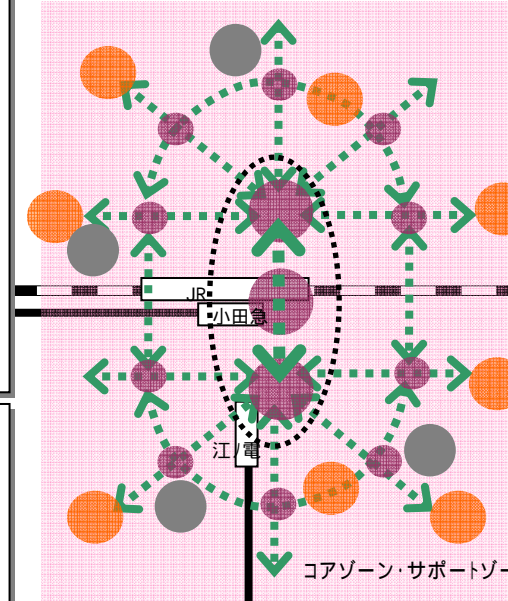
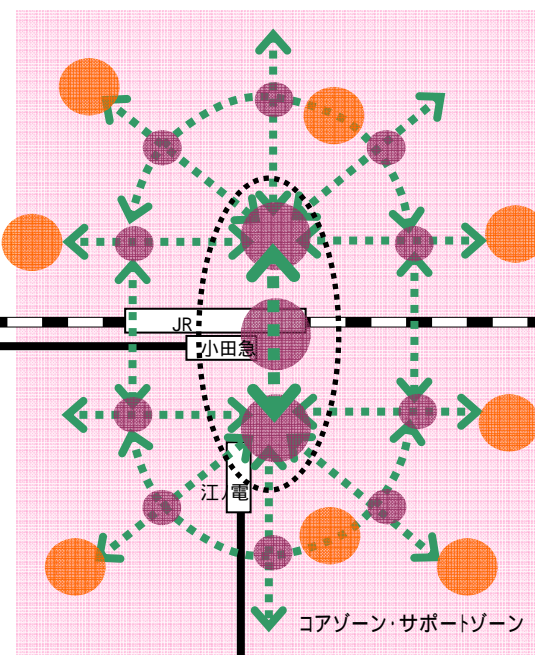
コアゾーン、サポートゾーンでの円滑な自動車交通処理を行うために、公共交通等の駅へのアクセス、駐車場利用等を勘案して、自動車交通処理を主体とする路線を位置づけ、歩行者が主体となるネットワークを性格づけます。

駅利用者のまちなかへの誘導

藤沢駅の乗降客数は3社合わせて一日約38万人といわれており、これらの人々をまちなかに誘導するとともに、藤沢駅を通過している多くの人々をまちなかに引き込むために、まち全体の魅力の向上を図っていきます。
バスで藤沢駅に集散する人々についても、単に鉄道との乗換えだけでなく、まちなかに引き出す魅力づくりを進めます。

自動車・自転車利用者対応

区内での歩行者空間の安全性・快適な回遊空間を実現するために、自動車の歩行者・自転車との区分と地区の周辺に配置された既存の駐車場の活用をしていきます。
自転車駐車場については、住宅用、商業用について付置義務やマナー向上などを中心に対応をしていきます。



(2) 整備方針への具体的対応 (第5回資料より)

地区内での特色ある通り・エリアの活用、創出

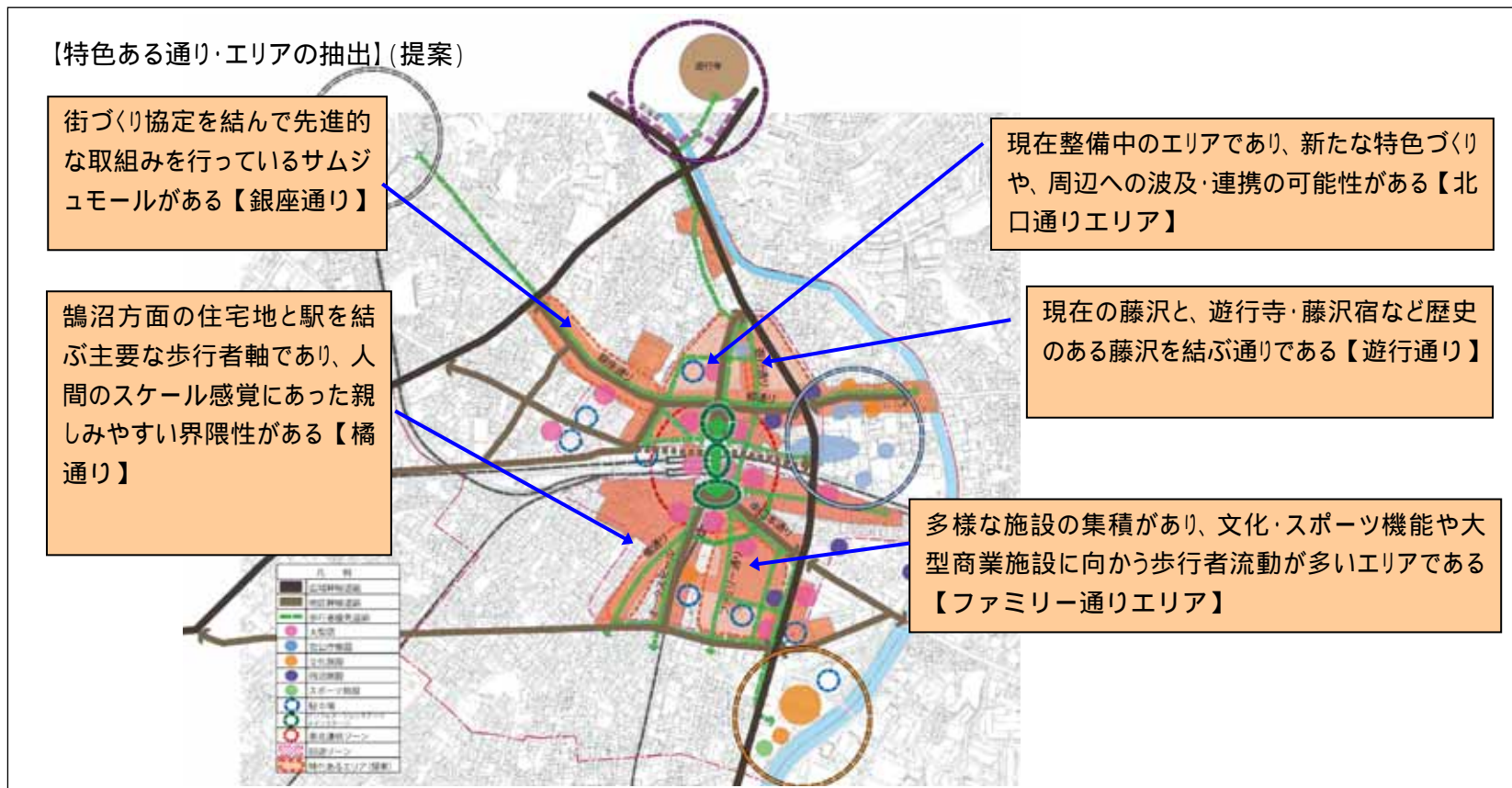
- ・回遊ゾーンの中で、既存の商業地や回遊の目的地となるような大型店、官公庁施設、文化施設、宿泊施設などを活用するとともに、地区特性を活かした「特色ある通り・エリア」を生み出していきます。
- ・「特色ある通り・エリア」として位置づけていくものとして、ここでは、
 遊行通り
 北口通り
 銀座通り
 橋通り
 ファミリー通りエリア
 を例として提案しています。
- ・コアゾーン、サポートゾーン全体をコントロールしながら、上記の通りやエリアに限らず、さらに特色のある通りやエリアをつくりだしていくことが必要です。

回遊ゾーンの整備と南北連結ゾーンの整備

- ・コアゾーン、サポートゾーンを中心に駅の南側回遊ゾーン、北側回遊ゾーンをそれぞれ整備するとともに、南北間の回遊を生み出すために、駅周辺の南北連携ゾーンの整備(南北連携軸の充実等)を行います。

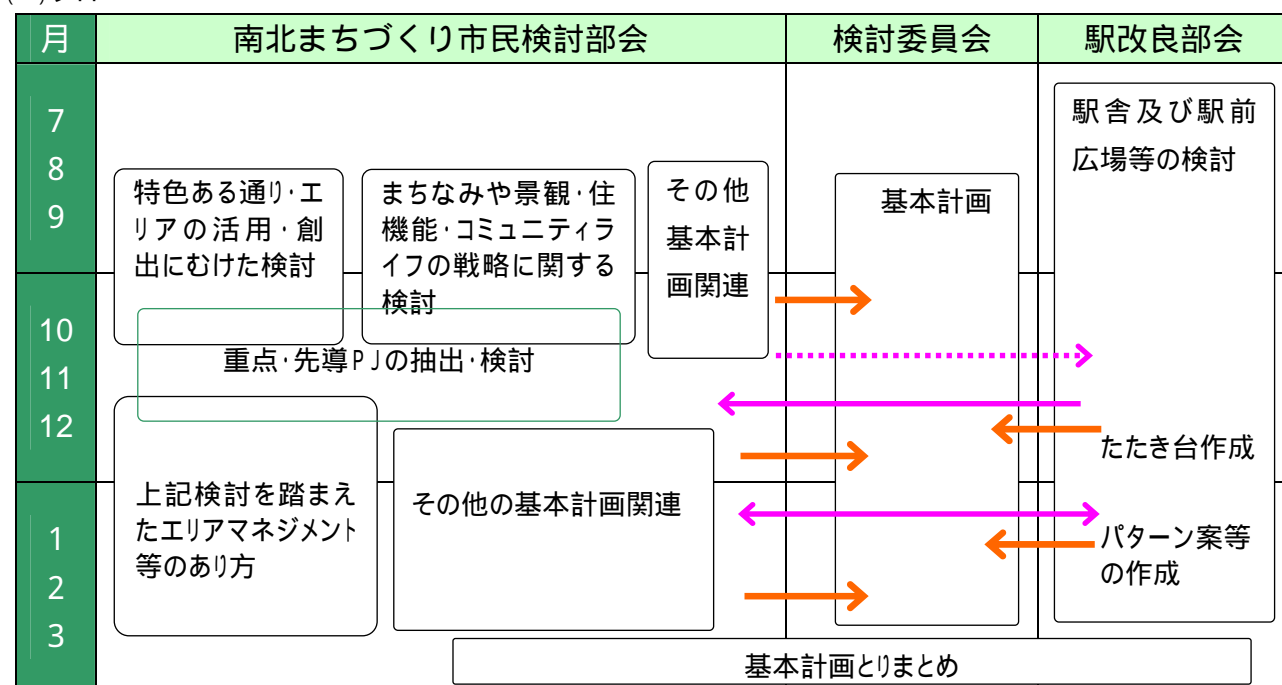
地区内での回遊広場の活用、創出

- ・鉄道で来た人を駅から回遊に導き出すとともに、車で来た人を商業地の駐車場からまちなかに引き出していきます。
- ・駐車場は、現在主に商業地の周辺に配置されているので、まちなかは歩行者優先の空間にしやすいです。
- ・道路の性格付けを行って、歩行者優先の回遊軸を舗装の活用や、セッバックなどにより、充実していきます。

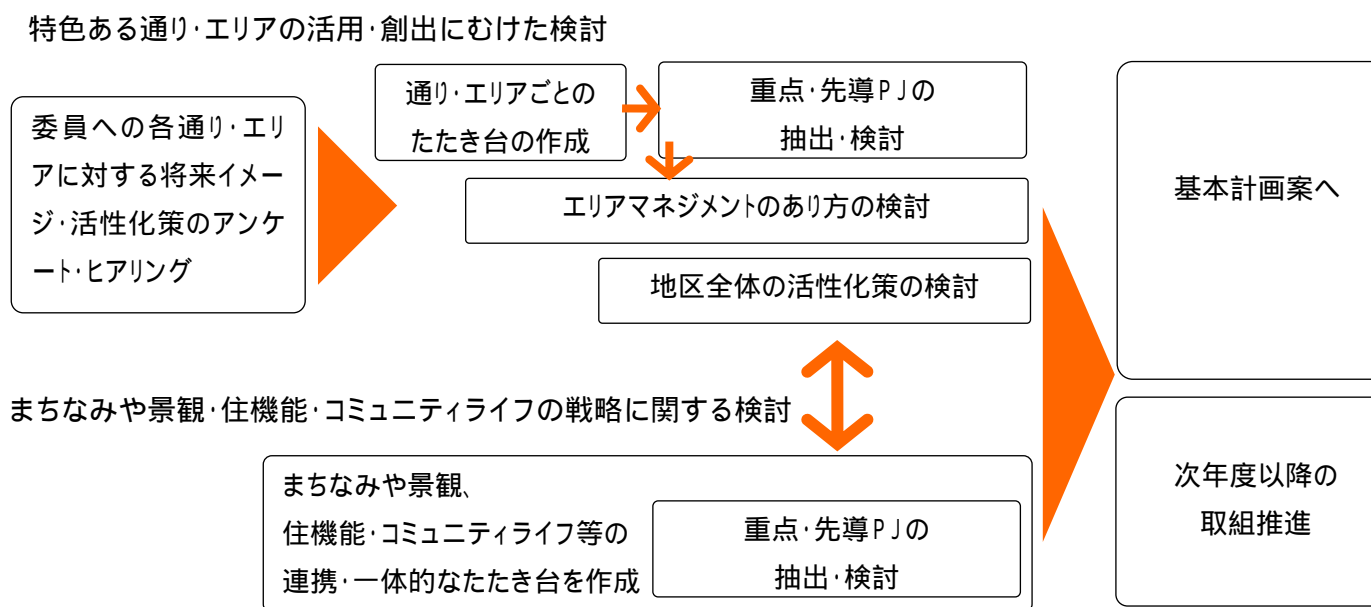


2. 今年度の進め方について

(1) フロー



(2) 前半の進め方(案)



【 藤沢駅周辺地区再整備構想・南北まちづくり市民検討部会 】 特色ある通り・エリアの活用・創出にむけたアンケート

方向性をまとめていく上でのヒントとなるよう、実現性、具体性に限らず検討する上での視点、アイデアを、中長期を見据えてご記入ください。

書きづらい欄は空白で結構です。

一番右側の欄は、通り・エリアの関係者の方のみ、主体的に取り組んでいきたいと考えていることをご記入ください。

委員名

通り・エリア	通り・エリアのめざす姿	活性化するために活かすべき 通り・エリアの資源・活動	湘南・藤沢 らしさ、ライフスタイルの形成・支援に繋がること	具体的に進めていく・ 進めていきたい事業・施策	その他	地権者・地元事業者として 今後めざしている方向性 ・進める事業 等
北側	遊行通り					
	北口通り					
	銀座通り					
南側	橘通り					
	ファミリー通りエリア					

望ましい藤沢駅の姿	
-----------	--